

令和5年度

教育委員会の事務の点検及び評価  
に関する報告書

— 令和4年度の実績 —

五戸町教育委員会



## ま え が き

五戸町教育委員会では、町の行政運営の基本方針である「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しているところです。

この振興計画に基づき、町教育委員会では、「教育は人づくり」という視点に立ち、「五戸の未来を創造する人と文化を育むまち」を目指し、様々な取り組みを進めています。

本報告書は、このよう町教育委員会の取り組みについて、外部の学識経験者などから意見を伺いながら点検及び評価を実施し、その結果を取りまとめたもので、今後の効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすことを目的に作成しました。

町民の皆様には、この報告書によりまして本町の教育行政について、ご理解を深めていただきますようお願いいたします。

令和5年10月

五戸町教育委員会

## 目 次

点検及び評価の実施について	1
対象事業一覧表	2
施策4-1 幼児・学校教育	3
施策4-2 生涯学習	18
施策4-3 スポーツ・レクリエーション	28
施策4-4 地域文化	35
参考資料	40

## 点検及び評価の実施について

### 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運用に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この法律を受け、五戸町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) 自己点検・評価

町教育委員会では、平成27年11月に策定した令和6年度までの「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しております。その施策を推進するための主な事業について点検し、教育委員会自ら評価し、課題等を洗い出しました。

#### (2) 点検・評価の対象

教育委員会の事務事業を総合振興計画の施策ごとに区分し、その施策を推進するための事業を対象としました。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者を「点検・評価助言委員」として委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は、振興計画により4つに分類しそれぞれに施策を立て、各施策に対する取り組む事業ごとに記載しています。

#### (2) 取組事業の点検

施策を推進するための具体的な取組状況について、主な事業を取り上げ、その事業が適切に実施されているかどうか、その事業の概要・計画・実績を点検結果として記載しています。

#### (3) 取組事業の評価（点検を踏まえた評価）

各取組事業について、各取組状況の点検結果及び実績を踏まえ、その成果と課題を評価しています。

#### (4) 施策の総括的評価

各施策について、各取組事業の評価結果を踏まえ、総括的に評価しています。

#### (5) 点検・評価助言委員の意見

上記について、点検・評価助言委員からの意見を載せています。

点検・評価対象事業一覧

五戸町総合振興計画			主 な 事 業		
第4章 五戸の未来を創造する人と文化を育むまち（教育・文化分野）	施策4-1 幼児・学校教育	1	幼児教育の充実	1	幼児教育相談・就学相談事業
		2	学校教育の充実	2	学校施設維持管理事業
				3	特別支援教育支援員配置事業
				4	語学指導外国青年招致事業
				5	奨学資金貸付事業
				6	コミュニティバス通学対応便事業
				7	GIGAスクール構想推進事業
				8	海外研修支援事業
				9	教育支援委員会事業
				10	教職員の働き方改革推進事業
		3	道徳教育の充実	11	五戸っ子宣言実践事業
		4	食育の充実	12	学校給食地場産物活用推進事業
		5	家庭・地域と連携した学校づくり	13	学校運営協議会事業
				14	学校支援地域本部事業
				15	通学合宿事業
		6	放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進	16	放課後子ども教室推進事業
	7	子どもの安全確保	-	(各学校実施)	
	施策4-2 生涯学習	1	社会教育関連施設の充実	-	(各施設実施)
		2	図書館の利用促進	17	移動図書館事業
		3	生涯学習プログラムの整備と提供	18	町民大学講座事業
				19	公民館講座事業
				20	公民館情報紙発行事業
				21	文化賞・スポーツ賞等事業
				22	町民文化講演会事業
				23	町文化協会支援事業
				24	あいさつ運動事業
		4	指導者の育成と団体等の活動支援	-	(各種事業実施)
	5	若い世代が参加しやすい社会教育の実施	25	成人式事業	
	6	五戸町を深く知る取り組みの推進	26	好きです五戸町ボランティア運動事業	
	7	学習成果の活用	27	ボランティア活動支援事業	
	施策4-3 スポーツ・レクリエーション	1	多様なスポーツ活動の普及促進	28	スポーツ推進委員事業
				29	生涯スポーツ振興事業等委託事業
				30	スポーツクラブ育成事業
31				スポーツ大会出場祝金事業	
32				町民運動会事業	
2		指導者の育成・確保	-	(各種事業実施)	
3		スポーツを通じた交流の促進	-	(各種事業実施)	
4	スポーツ環境の整備	33	スポーツ施設の管理事業		
施策4-4 地域文化の振興	1	保存団体、指導者の育成	34	文化まつり事業	
			35	町文化財管理事業	
	2	文化財の保存活動の推進	36	伝統芸能継承活動事業	
			37	県重宝「旧圓子家住宅」管理事業	
	3	文化財の活用	38	ごのへ郷土館管理事業	

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-1 幼児・学校教育

- 児童・生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実を図ります。
- 安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりを進めます。

#### 【4-1-1 幼児教育の充実】

- 1 幼児教育相談・就学相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

#### 【4-1-2 学校教育の充実】

- 2 学校施設維持管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 3 特別支援教育支援員配置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 4 語学指導外国青年招致事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 5 奨学資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 6 コミュニティバス通学対応便事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 7 GIGAスクール構想推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 8 海外研修支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 9 教育支援委員会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 10 教職員の働き方改革に係る取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10

#### 【4-1-3 道徳教育の充実】

- 11 五戸っ子宣言実践事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

#### 【4-1-4 食育の充実】

- 12 学校給食地場産物活用推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

#### 【4-1-5 家庭・地域と連携した学校づくり】

- 13 学校運営協議会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13
- 14 学校支援地域本部事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13
- 15 通学合宿事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

#### 【4-1-6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進】

- 16 放課後子ども教室推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15

#### 【4-1-7 子どもの安全確保】

※各学校に委ね実施

- 施策4-1 総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・・・ P 16

4-1-1 幼児教育の充実

1 幼児教育相談・就学相談事業			
点検	概要	<p>幼児一人一人の望ましい発達を促し、生きる力の基礎を培うことを目的とし、必要に応じて、医療・保健・福祉等機関との連携の下に、専門的な教育相談・就学相談を受けられる体制を確立する。</p>	
	計画	<p>教育相談・就学相談については随時対応し、そのケースに応じて専門機関との連携を図り、本人・保護者に十分な情報を提供する。</p>	<p>実績</p> <p>幼児就学相談11件（教育支援委員会による調査・判定を含む）</p>
評価	成果	<p>町内には、教育委員会管轄の幼稚園（旧制度）等施設は無く、他市町村の幼稚園（旧制度）等通園幼児もいないため、幼児教育の充実にあっては、福祉機関と情報を共有しながら進める必要がある。</p> <p>教育相談・就学相談については、幼児期からの早期の対応が重要であると考えており、主に教育支援委員会との連携により、円滑な就学につながっている。</p>	
	課題等	<p>発達障害等の疑いのある幼児は増加傾向にあり、その対応や就学先の判断等にあっては、確かな専門的知識が必要となる。専門機関との連携を密にするとともに、対応できる人材（発達障害に関して専門的な知識を持つ方など）を設置する必要がある。</p>	



2 学校施設維持管理事業

概要 各学校からの要望により学校施設の改修及び修繕を行い、児童生徒が安全に教育を受けられる安全で快適な環境を整える。

計画 前年度に実施した学校訪問により判明した修繕箇所や、緊急に必要となる修繕料を予算措置する。

点検

実績

小学校  
【修繕】（5万円以上）  
五戸小学校  
・昇降機修繕  
・電気温水器修繕  
切谷内小学校  
・体育館暖房機修繕  
・A重油液面計修繕  
・ガス警報器交換修繕  
上市川小学校  
・屋根雨漏り修繕  
倉石小学校  
・2F女子トイレタイル張替  
・遠赤外線暖房機修繕  
全体  
・ボイラー設備修繕  
  
【工事】  
五戸小学校  
・玄関壁面塗装工事  
切谷内小学校  
・キュービクル電圧ケーブル等更新工事  
倉石小学校  
・職員室親時計交換工事  
・ガラスブロック修繕工事

中学校  
【修繕】（5万円以上）  
五戸中学校  
・防災設備修繕  
・浄化槽放流ポンプ電磁開閉器修繕  
川内中学校  
・駐車場投光器交換修繕  
・ステージ照明器具修繕  
・体育館暖房機用加湿器修繕  
全体  
・ボイラー設備修繕  
  
【工事】  
五戸中学校  
・普通教室床修繕工事  
・浄化槽放流ポンプ更新工事  
・キュービクル気中開閉器等更新工事  
川内中学校  
・玄関外壁塗装工事  
・コンクリート殻撤去  
・LPガス配管更新工事  
倉石中学校  
・正面玄関入口サッシ交換工事

評価

成果

前年の10月頃に教育委員による学校訪問を行い、各学校の要望を把握することで、修繕計画をたて、順次修繕を実施した。

課題等

五戸小学校以外の校舎の老朽化が進んでおり、今後は大規模改修や学校の統廃合、学校の改築等を検討しなければならない時期になってきている。

3 特別支援教育支援員配置事業			
点検	概要	様々な障害を持つ児童生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動の支援などを行う特別支援教育支援員を必要な学校に配置し、児童生徒の教育の充実を図る。	
	計画	小学校4校、中学校3校、合わせて23人の支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五戸小学校9人 (内1人は生活支援)</li> <li>・切谷内小学校2人</li> <li>・上市川小学校2人</li> <li>・倉石小学校2人</li> <li>・五戸中学校3人</li> <li>・川内中学校3人</li> <li>・倉石中学校2人</li> </ul> 計23人の支援員を配置した。
評価	成果	特別支援教育支援員を必要とする学校に配置することにより、教員の負担を軽減し円滑な学級運営の一助となっている。児童生徒の発達の段階や障害の状況に対応した支援を行い、障害による困難を克服するための教育を行うことができた。なお、令和2年度からは五戸小学校に肢体不自由の児童が入学したため、生活支援を主とした生活支援員を1名増員している。	
	課題等	発達障害等のある児童生徒が増加傾向にあるなか、概ね人材確保できているものの、欠員が出た場合の補充や新たな支援員増員の要望が出た場合の対応が難しい現状である。 また、各学校教職員と支援員との連携が不足している学校が見受けられたため、連携強化をしていく必要がある。 会計年度任用職員制度となったことにより支援員の雇用事務を総務課と連携し円滑に行っていく必要がある。	

4 語学指導外国青年招致事業			
点検	概要	国の語学指導外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して、語学指導助手（ALT）となる外国青年を招致し、小・中学校で英語授業の補助をしてもらうことで英語教育の充実を図る。また、国際理解教育の補助をすることで諸外国との相互理解を増進する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数3人</li> <li>・配置校7校</li> <li>・学校教育以外での英語指導の実施（ボランティア）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数3人</li> <li>・配置校7校（全小中学校）</li> <li>・町内小中学校での授業のほか、町内幼稚園・保育園へ訪問し、ふれあいを通して外国の文化や言葉に対する子どもたちの興味関心を広めた。</li> </ul>
評価	成果	外国青年によるALTの配置により、小中学生が生の英語に触れることで英語教育の充実を図ることができた。また、ALTが夏休み英会話スクールの英語講師として授業を行い、外国の文化や英語に間近に触れることができ町民との交流も図られた。さらに、幼稚園、保育園訪問により、様々な文化や言葉に興味感心を広めることが出来た。	
	課題等	各小中学校と連携を密にし一層のALTの効果的な活用に努力したい。また、住環境について、町指定のアパート以外にも住居の選択肢を増やしたり、町所有物件の活用による双方の住宅費の抑制等の改善が必要である。	

5 奨学資金貸付事業			
点検	概要	五戸町出身の学生及び生徒で経済的理由により就学が困難な者に対して、学資を無利子で貸与して人材の育成を図る。償還期間は、1年据置後から貸与期間の2倍の期間以内とする。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規貸与者数 高校生 10人 大学生等 15人</li> <li>償還金償還率（現年度分） 95%</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規貸与者数 高校生 2名 大学生等 9人</li> <li>償還金償還率（現年度分） 97.9%</li> </ul>
評価	成果	経済的理由により就学が困難な者11名に対して新たに貸付を行い、全39名へ奨学資金の貸付けによる支援を実施し、人材育成を図ることができた。	
	課題等	現年度分の償還率については、昨年度の97.3%より上昇している。全体の滞納額は過年度滞納者の未納額が減少した。（△130,000円）未納者と連絡を密にとりながら、未納者の経済状況などの把握をして返済に向けた取組みを継続的に行い、未納額の減少に努めることが必要である。	

6 コミュニティバス通学対応便事業			
点検	概要	学校統合などにより、遠方から通学する児童生徒の通学手段として、学校と該当地区の間に通学のためのスクールバスを業者委託により運行する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校</li> </ul>
評価	成果	スクールバスを計画のとおり運行したことにより、遠隔地の児童生徒が円滑に通学することができた。	
	課題等	利用予定にあるが実際生徒が全く乗らない場合等の無駄な部分を、少しでも無くするために、学校側にもバスの費用等を知ってもらう必要がある。	

7 GIGAスクール構想推進事業			
点検	概要	<p>児童・生徒に1人1台タブレット端末の配布と高速ネットワークを整備することにより、タブレット端末を授業に活用し、授業の幅を広げることができる。</p> <p>また、ICT教育を行うことにより、これからの情報化社会に対応出来る人材の育成を行うことが出来る。</p> <p>(令和2年度に導入、令和3年度より運用)</p>	
	計画	<p>GIGAスクール構想を持続的に実現するために下記の経費がかかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークやタブレット端末の維持に係る使用料、保証料</li> <li>・故障した際の修繕費</li> <li>・サポート業務を行う業者への委託料</li> <li>・教材の著作権料</li> <li>・ネットワーク工事やディスプレイ等補助教材購入の工事費、備品購入費</li> </ul>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ関係機器管理</li> <li>・通信料</li> <li>・GIGAスクールサポート業務委託料</li> <li>・授業支援ソフトライセンス使用料</li> <li>・ドメイン使用料</li> <li>・アクセスポイント追加設置</li> <li>・大型ディスプレイ購入</li> <li>・授業目的公衆送信補償金(教材の著作権料)</li> </ul>
評価	成果	<p>各授業において、ドリルやテストを児童・生徒用端末に送信し、回答を返信してもらうことにより、一斉に答案を回収、評価をできるようになった。また、動画を授業に取り入れられるようになったり、体育等の授業において、内臓のカメラで自分の動きを撮影し、練習に活かせるようになった。</p>	
	課題等	<p>タブレット端末の活用の度合は、担任または各教科の先生の理解度よるところが大きいいため、各学校間で差ができることがある。</p>	

8 海外研修支援事業			
点検	概要	<p>海外の学校等での研修を希望する高校生の負担軽減を図るとともに、幅広い視野や優れた国際感覚を持つ次世代を担う才能あふれる人材を育成する。</p>	
	計画	<p>◎募集人員等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期留学2名、短期留学3名</li> <li>・町内に住所を有し、高等学校又は高等専門学校在学者</li> <li>・広報による周知</li> <li>・海外研修事業に要する経費の一部を補助金として交付する。</li> </ul> <p>◎補助金額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※長期 経費の1/3又は40万円のいずれか少ない額</li> <li>※短期 経費の1/2又は25万円のいずれか少ない額</li> </ul>	<p>実績</p> <p>なし。</p>
評価	成果	<p>令和4年度実施なし。</p>	
	課題等		

9 教育支援委員会事業

点検	概要	<p>早期からの教育相談・支援や就学先決定時のみならずその後の一貫した支援についても助言を行うということを目的に、主に以下の8つの機能を担っている。(五戸町・新郷村共同設置)</p> <p>①障害のある子どもの情報を継続的に把握する。                  ②就学移行期においては、教育委員会と連携し、本人・保護者に対する情報提供を行う。                  ③教育的ニーズと必要な支援について整理し、個別の教育支援計画の作成について助言を行う。                  ④教育委員会による就学先決定に際し、事前に総合的な判断のための助言を行う。                  ⑤就学先についての教育委員会の決定と保護者の意見が一致しない場合に教育委員会からの要請に基づき第三者的な立場から調整を行う。                  ⑥就学先の学校に対して適切な情報提供を行う。                  ⑦就学後も必要に応じ「学びの場」の変更等について助言を行う。                  ⑧「合理的配慮」について助言を行う。</p>	
	計画	<p>令和4年度 予算額                  375,743円                  ・委員会…4回・専門部会…7回</p>	<p>実績</p> <p>令和4年度 決算額                  375,734円                  ・委員会…5回・専門部会…7回</p>
評価	成果	<p>令和4年度は44件(計4回判定)の判定を行った。就学時、就学後の必要な時期に学びの場を検討し、個別支援が必要と思われる児童生徒の教育支援を行った。</p>	
	課題等	<p>専門部員(特別支援教育担当教員・県立学校教員)の協力により検査を実施しているが、新しい検査方式への移行により、検査を実施できる専門部員が不足してくることも予想される。講習会等への派遣を行い、検査実施可能な専門部員を継続的に育成する必要がある。また、町独自の検査実施可能な人材を確保する必要がある。</p>	

10 教職員の働き方改革に係る取組

点検	概要	<p>当町立小中学校に勤務している教育職員の負担をより一層軽減し、長時間勤務の是正を図ることで、教育職員の健康及び福祉を確保し、教育職員が意欲と能力を最大限発揮して、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう、学校との連携の下、学校における働き方改革に向けて取り組むものである。</p>	
	計画	<p>①在校等時間の上限等に関する規則・方針の整備等</p> <p>②教職員の在校時間把握</p> <p>③学校閉庁日等設定</p> <p>④スクールサポートスタッフ配置</p> <p>⑤部活動指導員配置</p> <p>⑥部活動地域移行検討</p>	<p>実績</p> <p>①規則制定済み、校長会で遵守依頼。働き方改革プラン作成中。</p> <p>②県提供のエクセルデータに各学校各自勤務時間を入力し必要時提出することで把握。</p> <p>③閉庁日：R4.8.15～16 閉庁期間：R4.8.13～16</p> <p>④五戸小、切谷内小、上市川小、倉石小、倉石中、各1人計5人配置。消毒や雑用など週15時間以内、年600時間以内でサポート。</p> <p>⑤五戸中女子バスケット部に1人配置。</p> <p>⑥検討協議会2回開催</p>
評価	成果	<p>各種取組みにより教職員の負担軽減が図られている。</p>	
	課題等	<p>国、県の取組みに歩調を合わせ推進し効果を得ている一方で、取組みに伴う報告や調査など、管理職や事務職に新たな業務負担が発生していることから工夫しながら取り組まなければならない。なお、働き方改革プランを令和5年度中に作成予定である。また、在校時間の把握について、タイムカード打刻等客観的な把握に努めるよう県から指導を受けている。このため、タイムレコーダーを管内全学校に導入したいと考えている。</p>	

11 五戸っ子宣言実践事業			
点検	概要	令和の五戸型教育の構築をめざし、これまで学校教育が果たしてきた教育の不易の部分を今一度確認し、来るべき時代で生き抜く資質・能力を育む基礎固めを目的に、めざす子ども像を明確にする「五戸っ子宣言」を策定しその宣言の内容について実践するものである。	
	計画	児童生徒自ら「五戸っ子宣言」を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討協議集会 3回開催 (各中学校で代表者 2名程度を参集し開催)</li> <li>・ 「五戸っ子宣言」(8項目)を策定し町長へ報告 (各学校代表者 1名参集)</li> </ul>
評価	成果	<p>児童生徒の言葉</p> <p>「私たちは、五戸町に住む人間として、将来を力強く生きていくために、小・中学生時代に身に付けておくべきことがあると考え、五戸町全7校の小・中学校で意見を出し合いました。このたび、意見がまとまりましたので、次のとおり「五戸っ子宣言」を定め、ここに、全員で実行していくことを誓います。」</p> <p>&lt;五戸っ子宣言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 自分から笑顔で元気にあいさつをします</li> <li>一 ありがとうやごめんなさいをしっかりと伝えます</li> <li>一 元気な返事をします</li> <li>一 五戸の良いところを知るためにたくさんイベントに参加します</li> <li>一 めあてに向かって協力していろいろなことに取り組みます</li> <li>一 自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えます</li> <li>一 相手の考えや思いを大切にします</li> <li>一 友達の良いところを見つけます</li> </ul>	
	課題等	実践状況を把握調査し発表する場を設けたい。	

12 学校給食地場産物活用推進事業		
点検	概要	学校給食に地場産物を使用し、「生きた教材」として活用することにより、児童生徒が食材を通じて地域の自然や文化、産業等に理解を深め、地産地消並びに、健全な食生活の実践に向けて食育の推進を図る。
	計画	<p>地産地消・食育の観点から、学校給食食材に地場産物を取り入れ、地元の食材や産業についての理解を深めると共に郷土の文化や伝統への関心を高める。</p> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食食材に地場産物（米・ながいも・にんにく・ごぼう・シャモロック・りんごジュース・馬肉・味噌・なんばんみそ等）を取り入れ、月1回、地場産物をたくさん使用した給食を提供した。</li> <li>・新たな食材（丸いも）を給食に取り入れ提供した。</li> <li>・給食だよりを活用し、地場産物の紹介をすることにより、地元食材使用の周知を図った。</li> </ul>
評価	成果	地域の農畜産物を学校給食に活用することが、より身近に実感を持って、地域の食文化、産業や自然環境の恵みに対する児童・生徒の理解を深められた。
	課題等	<p>食材調達には、安全・安心な給食を確保する観点から、地元産を含む青森県産の食材を積極的に使用するよう努めている。地場産の野菜は季節により入手することが困難になる時は国内産、外国産を使用している。</p> <p>物価高騰や加工食品製造工場の人手不足が原因で製造中止となる主菜があり、地場産物を使用した加工食品を製造できないか学校給食物資納入業者と検討している。</p>



13 学校運営協議会事業			
点検	概要	学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものである。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱</li> <li>・各学校開催回数2回以上</li> <li>・委員報酬等支給</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校推薦の60名に委員委嘱</li> <li>・各学校2回以上開催</li> <li>・委員報酬等支給</li> </ul>
評価	成果	それぞれ立場の違う委員より様々な視点からの助言や意見をいただき、効果的に教育活動が進められている。 また、地域と連携することにより信頼関係が深められ教育活動の向上につながっている。	
	課題等	学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係をより一層深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んでいく。	

14 学校支援地域本部事業			
点検	概要	学校の要望に応じて、教育活動を地域住民のボランティア活動で支援する体制をつくり教育活動の一部を支援することで、教職員・地域住民が子どもたちと向き合う時間を増やし、教育環境の整備や地域の教育力の向上を図る。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の学校2校に学校支援センターを設置する。2校に学校支援コーディネーターを計5人配置する。</li> <li>・コーディネーターが、学校とボランティアの調整に当たる。</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・五戸小学校、倉石小学校の2校に地域学校協働本部（旧学校支援センター）を設置している。2校に計5人の地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）を配置した。</li> <li>・コーディネーターが、学校とボランティアの調整に当たった。</li> <li>・図書整備や学校田畑整備など学校の要望に沿って地域住民が、ボランティアで支援を行った。</li> </ul>
評価	成果	地域住民のボランティアにより、学校の教育環境の向上と教職員が児童に向き合う時間を増やすことができた。 また、教職員や児童と保護者以外の地域住民（ボランティア）が交流する貴重な機会であり、地域住民の親しみや教育に関する理解の促進が得られる場でもある。 コーディネーターによるボランティアの調整によって多くの保護者や地域住民が学校と関わりを持つことが出来ていることが最大の成果である。令和5年度も引き続き国県補助事業として行う予定となっている。	
	課題等	継続的に実施している支援内容以外の様々な分野での支援ができるようになるため、コーディネーターの資質向上と、コーディネーターと教育委員会の協働による地域ボランティアのさらなる発掘や地域の理解が必要である。ボランティア不足のため周知方法等も工夫していかなければならない。	

15 通学合宿事業	
点検	概要 <p>子ども達の生活する力の育成と地域の教育力の醸成を目的とし、家族と離れて、地元の自治会館等に宿泊しながら集団生活を送り、炊事、掃除等の生活体験をする。</p> <p>地域の大人と一緒に活動をし、地域の方々との交流を深めることで、子どもの自立心や生活する力の向上、協調性や我慢する心を育む。さらには、地域住民で実行委員を組織し、地域の大人が子ども達の生活や体験活動をサポートすることを通して、地域住民同士が交流をし、地域ぐるみで子ども達を育てていこうという機運を高める。</p> <p>町からの直接的な資金は投入されていない。</p>
	計画 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加児童 働くことや協力することの大切さを知ってもらう90%</li> <li>・保護者 働くことや協力することの大切さを児童に理解させる70%</li> <li>・実行委員 地域で子どもを育てるきっかけをつくる80%</li> </ul>
評価	成果 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>
	課題等 <p>児童自身の学びや成長だけでなく、地域住民等が率先して実行委員会を組織し計画の作成や実行委員の募集等を地域に呼びかけられるようになることが事業元来の目的であるが、人口減少や担い手不足により実現は難しい。</p> <p>本事業が地域の人材や団体の育成につながることで、地域住民の手による自発的継続的な事業となり、未実施学区や地域でも実施できるようにすることが今後の課題である。地域学校協働活動推進事業で連携して行えるかもしれないため、学校及び協働活動推進員の方と協議が必要である。</p>

16 放課後子ども教室推進事業					
概要	放課後に学校の空き教室等を活用し、地域の方々の協力を得て、子ども達の安心・安全な活動拠点をつくり、スポーツや文化活動、地域住民との交流を通して、地域が一体となって心豊かでたくましい子ども達を育む環境づくりを目指す。開催日は、平日の放課後から17時頃まで。(曜日や時間は実施校により異なる。)年5回程度、土・日曜日を利用した体験活動を開催する。				
点検	<table border="1"> <tr> <td>計画</td> <td> <p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 計60名</li> <li>・開催日数は平日計162日、土曜日等計8日、合計170日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催2回</li> </ul> </td> <td>実績</td> <td> <p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入人数 計59名</li> <li>・開催日数は平日141日、長期休業日を含む土曜日等2日、合計143日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催1回(書面開催)</li> </ul> </td> </tr> </table>	計画	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 計60名</li> <li>・開催日数は平日計162日、土曜日等計8日、合計170日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催2回</li> </ul>	実績	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入人数 計59名</li> <li>・開催日数は平日141日、長期休業日を含む土曜日等2日、合計143日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催1回(書面開催)</li> </ul>
計画	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 計60名</li> <li>・開催日数は平日計162日、土曜日等計8日、合計170日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催2回</li> </ul>	実績	<p>五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校の計3校で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入人数 計59名</li> <li>・開催日数は平日141日、長期休業日を含む土曜日等2日、合計143日</li> <li>・放課後子どもプラン運営委員会開催1回(書面開催)</li> </ul>		
評価	<p>成果</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響は3年度よりは緩和され実施回数は約20日多く開催された。開催日数は目標値を下回ったが、万全の対策を行い、子どものあそび場や居場所の提供を実施した。</p> <p>本事業は、地域の方々の協力により年齢の異なる子どもたちが一緒に工作、料理、自然学習、農作業、アウトドア体験等の様々な体験活動を行うものであり、普段家庭ではなかなかできない体験ができるということで参加児童の保護者からも好評を得ている。</p>				
	<p>課題等</p> <p>事業の持続的な開催と未実施学区での事業実施のためにはスタッフの拡充と各教室の自立が重要である。地域の実情に合わせた放課後子ども教室の実施のためにも、各地区での新規人材の確保について広報手段や謝金単価の増額等も含めて対策をしていかなければならない。</p>				

#### 施策4-1 総括的評価

児童生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実が図られているか、及び安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりが進められているか、関連する16事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

#### 点検・評価助言委員の意見

##### 1 幼児教育相談・就学相談事業

◆教育支援委員会との連携により円滑な就学につながっていると思います。発達障害等に関して専門的な知識を持ったコーディネーター設置について、早目の対応が必要と思います。

##### 2 学校施設維持管理事業

◆学校訪問による修繕箇所等の把握とともに、今後は、より一層、子供たちの安全に関わる設備の設置等の視点を重点として項目に取り入れてほしいと思います。

◆五戸町立小・中学校統合計画が出され、これからの子ども達のよりよい教育環境整備につながるものと期待します。昨今の夏場における異常とも思われる気温上昇に対して、技能教科教室を含めた全教室クーラー設置が必要と思います。

##### 3 特別支援教育支援員配置事業

◆各学校教職員と支援員との連携が不足している学校が見受けられたという問題点が見つかったことについて、連携強化の取組の具体例を明示するか、それとも、今年度この連携強化の取組を進める具体的取組内容を書かれた方が、教育委員会の動きがはっきりみえると思います。

◆教員の負担軽減等、各学校運営に大きく寄与していると考えます。報告書の活用により教職員と支援員の連携不足を把握できたことは大きな成果と思います。

##### 4 語学指導外国青年招致事業

◆幼稚園や保育園訪問により、幼少期からネイティブスピーカーに触れる機会はとても有意義なことだと思います。授業におけるALTの効果的な活用のために小中学校の連携が必要と考えます。

##### 6 コミュニティバス通学対応事業

◆スクールバスの運行により、遠隔地の通学手段が確保されています。円滑なスクールバスの運行のために、委員会と学校担当者の打合せを年に何回か設定してみてもはいかがでしょうか。

##### 7 GIGAスクール構想推進事業

◆毎年先生方向けの研修会が行われているのは、大変有意義だと思います。これからも実際の活用例等を研修し先生方の活用技術の向上を望みます。

## 9 教育支援委員会事業

◆専門委員の一刻も早い人材の確保に期待したいと思います。あわせて、五戸小学校に通級指導教室があることから、五戸中学校にも通級指導の設置を検討し、教育支援委員会の事業として、小中の連携のとれた取組に期待します。

◆きめ細かな対応がなされていると思います。専門部員の計画的な人材確保が望まれます。

## 10 教職員の働き方改革に係る取組

◆少しずつではあるが働き方改革が進んでいる気がします。部活動地域移行に関しては、人材と財源、活動場所が重要な課題であると考えます。

## 11 五戸っ子宣言実践事業

◆是非、発表の場を設け、各校の取組を共有化したり、実践に向けた取組を学校任せにするのではなく、各校の児童会や生徒会、学級のリーダーを集めたリーダー研修会等を実施したりしての具現化に向けた話し合いなどを教育委員会が主導して、各学校が実践に向けて取り組みしやすいようなサポートを進めていけたら素晴らしいと思います。

◆五戸っ子宣言により、めざす子ども像がより具体化され、自分自身を大切に思う気持ちやふるさとを誇りに思う気持ちなど、キャリア教育につながることを期待します。

## 12 学校給食地場産物活用推進事業

◆物価高騰による中での給食の食材の調達の高難しさは大変なことと思います。課題に書かれている内容に期待したいと思います。

◆地産地消・食育の面から地場産物を取り入れていくことは、意義深いことと考えます。食材調達や材料費という課題もあると思いますが、なるべく地元・県内の食材を中心にできればよいのではないかと思います。

## 13 学校運営協議会事業

◆急激な児童生徒及び保護者の減少により実施が難しくなってきた教育活動に対して、保護者や地域住民等の理解・協力・支援は不可欠と考えます。

## 14 学校支援地域本部事業

◆学校運営協議会事業と連携することによって、活動が推進される部分もあるのではないかと思います。

## 16 放課後子ども教室推進事業

◆共働きの保護者が多く、子ども達の居場所づくりという点で事業の持続的な開催は意義深いと思います。そのためにもスタッフの人材確保のための対策が必要と考えます。

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-2 生涯学習

- 生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催します。
- 生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めます。

#### 【4-2-1 社会教育関連施設の充実】

※各施設に委ね実施

#### 【4-2-2 図書館の利用促進】

17 移動図書館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19

#### 【4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供】

18 町民大学講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20

19 公民館講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20

20 公民館情報紙発行事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 21

21 文化賞・スポーツ賞等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 21

22 町民文化講演会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 22

23 町文化協会支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 22

24 あいさつ運動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 23

#### 【4-2-4 指導者の育成と団体等の活動支援】

※各種事業で働きかけ実施

#### 【4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施】

25 成人式事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24

#### 【4-2-6 五戸町を深く知る取り組みの推進】

26 好きです五戸町ボランティア運動事業・・・・・・・・ P 25

#### 【4-2-7 学習成果の活用】

27 ボランティア活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 26

施策4-2総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・ P 27

17 移動図書館事業			
点検	概要	図書館から遠隔地により利用しにくい地域の人たちのため、自動車に図書を積み込んで各地区と小学校を巡回し図書の貸出しを行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域巡回貸出冊数 1,000冊</li> <li>・学校巡回貸出冊数 3,600冊</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回5箇所での地域巡回及び小学校4校での巡回を実施した。</li> <li>・地域巡回貸出冊数 837冊</li> <li>・学校巡回貸出冊数 7,557冊</li> </ul>
評価	成果	<p>移動図書館により、遠隔地域への図書貸出サービスや地域を定期的に巡回することで読書の推進が図られ、利用者の希望に応じた貸出しをすることができた。</p> <p>なお、実績について地域巡回はおおむね順調に推移している。学校巡回については、新型コロナウイルス感染症対策により、生徒自ら自動車内にある図書を選ぶのではなく、一定の冊数（一校あたり20～30冊）を小学校に貸出していたため、計画より大きく上回った。</p>	
	課題等	<p>5類感染症への移行により、遠隔地域への貸出しについては巡回場所や日時等の見直しを検討し利用者増に努めたい。</p> <p>また、学校巡回については、一定の冊数を置くのではなく、生徒自らが図書を選び、図書カードを使い、図書館と同じような借り方ができるよう本来の目的に変更できればと考えている。これについては学校と連携し検討する必要がある。</p>	

4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供

18 町民大学講座事業			
点検	概要	生涯学習の一環として町民へ学習機会を提供することを目的に、年間を通じて各分野の講師を招いて講演を行う。また、施設見学などの移動講座も行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催講座数 10講座</li> <li>・開催回数 11回</li> <li>・受講者数 延べ330人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催講座数 8講座 (うち1講座は移動講座)</li> <li>・開催回数 9回</li> <li>・受講者数 延べ197人</li> </ul>
評価	成果	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2・3年度を中止としていたが、令和4年度から再開した。 計画に比べると数値の方は下回ってはいるものの、2年間の空白があった中で、無事に1年を通して開催できた事は1つの成果として挙げられる。	
	課題等	受講者が固定化している傾向にあり、新規の受講者が少ない。毎年楽しみにして下さる受講者に加え、本事業を知らない町民等に広く周知が必要。 また、若年層にも受講機会を広めるため、回によって開催内容や開催日時を柔軟に設定する等の検討が必要。(場合によっては土日や夜間開催も)	

19 公民館講座事業			
点検	概要	町民が生涯を通して生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、公民館において町民一人ひとりの学習ニーズに対応する多種多様な講座で、主に受講者が作成などを行う内容で学びの場を提供する。 講座は、年間を通して行う普通講座、2～3か月の期間で行う短期講座、川内・浅田・倉石の3地区の施設に出向いて行う移動講座がある。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加延べ人数</li> <li>普通講座 1,000人</li> <li>短期講座 100人</li> <li>移動講座 60人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通講座 (エコクラフト、パッチワーク、ハッピーダンス、やさしいヨーガ、ペン習字5講座) 428人</li> <li>・短期講座 0人</li> <li>・移動講座 0人</li> </ul>
	成果	公民館講座は、幅広い年代の町民が受講しており、普通・短期・移動の3種類の多様な講座を開講することや内容の充実を図りながら、進めていくことによって利用者が楽しく住民と交流する場を提供してきましたが、令和4年度はエコクラフトやパッチワークなどの普通講座を5種類開講。予定では短期講座、移動講座の受講者を募集したが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止となった。	
課題等	普通講座の新規受講者の加入を促進するため、町民の学習ニーズを調査し新たな講座の開講、特に日中の講座を希望されている方もあり、講座を楽しく参加できるような企画を検討する必要がある。		



20 公民館情報紙発行事業			
点検	概要	公民館事業への理解と関心を深めるために、公民館事業の情報紙「おんこ」を作成し、自治会を通して毎戸配付や回覧をすることで、公民館の利用者数の増加を目指す。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おんこ」の発行</li> <li>年間利用者数 35,500人</li> <li>年間利用件数 2,000件</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館講座の開催についての情報などを発信するため、「おんこ」を発行した。</li> <li>年間2回の「おんこ」を発行</li> <li>年間利用者数 28079人</li> <li>年間利用件数 1341件</li> </ul>
評価	成果	公民館情報紙「おんこ」を発行することで、公民館事業等を住民へ効果的にお知らせすることができ、また公民館利用者の利便性を高めることができた。利用者数に関して、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策から、貸し出しを原則中止にしていた期間があったことから、令和3年度と比べると増加したものの、感染拡大前に比べると減少している。	
	課題等	公民館情報紙「おんこ」と共に、町のホームページでの情報提供も続けていくが、現状では、紙面以外での情報入手が困難な状況にある方のためには依然として情報紙としての役割も大きい。今後とも見やすい、解りやすい公民館情報紙をめざし、情報提供していく必要がある。	

21 文化賞・スポーツ賞事業			
点検	概要	町の芸術文化の分野において、優れた創作活動を行っている個人または団体に対し「文化功労賞、文化賞、文化奨励賞」を、また町の体育・スポーツの振興発展への功績及びスポーツ大会において優秀な成績を収めた個人または団体に対し「スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞」を授与する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化賞 15人</li> <li>文化奨励賞 30人</li> <li>スポーツ賞 15人</li> <li>スポーツ奨励賞 40人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>文化賞 2人</li> <li>文化奨励賞 19人</li> <li>スポーツ功労賞 3人</li> <li>スポーツ賞 18人</li> <li>スポーツ奨励賞 24人</li> </ul>
評価	成果	令和5年度については教育大会が無事に開かれ、様々な分野で活躍した方々を讃えることができ、その内容が町の広報紙に掲載されることで、町民に広く活躍を知らせることができた。	
	課題等	該当者の把握について細心をはらいながら情報収集に努めていく必要がある。	

22 町民文化講演会事業			
点検	概要	町立公民館で講演会や演奏会などを実施することで、町民が芸術文化の関心を高めるとともに豊かな感性を育む機会を提供する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和のうたコンサート「北海道歌旅座」</li> <li>・スプリングコンサート ターンバック他</li> </ul> 入場者総数 1,300人	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策もあり、スプリングコンサートのみ開催</li> <li>・スプリングコンサート ターンバック他</li> </ul> 入場者数 200人
評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が芸術文化に関心をもち心豊かな感性を育てるため、コンサートを企画してきた。令和4年度はスプリングコンサートをターンバックの協力をえて開催することができた。</li> </ul>	
	課題等	コンサートや著名人の講演の要望等があるが、限られた予算内でできるだけ多くの町民が楽しめるものの実施を求められ難しい状況である。また、新型コロナウイルス感染症対策のため3年間行っていないことから、機会をとらえ要望を把握し、検討する必要がある。	

23 町文化協会支援事業			
点検	概要	町文化協会の事務局を町立公民館で担当、協会運営と文化団体の事業の推進を図るとともに、町の芸術文化団体相互の交流などの活動を支援するために、町文化協会へ町補助金を交付する。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会加入団体数 50団体</li> <li>・産業と文化祭り参加数 20団体・個人</li> <li>・芸能発表会参加数 20団体・個人</li> <li>・町補助金の交付</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会加入団体数 50団体</li> <li>・文化祭り参加数 25団体 5個人</li> <li>・芸能発表会参加数 9団体</li> <li>・町補助金を交付</li> <li>・50周年記念誌の発行</li> </ul>
評価	成果	補助金の交付を受け、視察研修の実施や発表会への参加など、町の文化団体組織の活性化と芸術文化が図られていたが、令和3年度に引き続き、各種研修会や交流会などのイベントは行いませんでした。 例年行っている奥州街道、根岸三十三観音の草刈り奉仕作業については、各種文化財の関係者と連携し、奉仕作業を行った。 また今年度は設立50周年のため、記念事業として記念誌を発行し、各サークルや関係者へ配布した。	
	課題等	今後も協会運営と文化団体の事業の推進が図られるよう支援していく。	

24 あいさつ運動事業

点検	概要	町内に気持ちの良いあいさつが響きわたるよう家庭、学校、職場をとおして本運動を展開し、「あいさつ日本一のまちづくり」を目指すものである。	
	計画	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動の実施</li> <li>・標語等の募集、活用及び表彰</li> <li>・ごのへケーブルテレビ活用の可能性の検討</li> <li>・広報ごのへまちの活用</li> <li>・その他啓発活動</li> </ul>
評価	成果	あいさつ運動を実施したり、あいさつ標語コンクールを開催することによって、小・中学生の”あいさつ”に対する高い意識づけをさせることが出来た。	
	課題等	<p>今回あいさつ運動関連の行事は小・中学生を中心に実施したが、今後の課題としては町全体をあいさつによって活気づけられるかというところだと考える。</p> <p>R4年度では実施出来なかった五戸ちゃんねるとの連動企画や、各課と協力して集会等で横断幕やのぼり旗を使い周知をより深める活動をしていきたい。</p>	

4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施

25 成人式事業			
点検	概要	<p>二十歳になる新成人の町民を対象に式典を行う。                      式典の企画運営は、新成人たちが自ら実行委員会を組織して検討・実施する。                      また、新たな取り組みとして「町長と語るつどい」を企画し、若者と町長が様々な議題に関して、語り合う場を創出する。</p>	
	計画	<p>・新成人の参加率（参加者／対象者）45%</p>	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度成人式（令和5年1月8日）は参加率58.5%であった。</li> <li>・名称を「五戸町成人式」→「五戸町成人式「二十歳を祝う会」」に変更</li> <li>・「町長と語るつどい」の開催 参加人数：17名</li> </ul>
評価	成果	<p>町の行事を新成人による運営で行うことで、新成人が地域との関わりを持つきっかけとなった。                      また、式典時の新型コロナウイルス感染症対策を緩和し、新成人1人につき2名まで保護者の出席を可能としたことで、新成人たちの人生で一度きりの晴れ舞台を保護者の皆様へお見せすることができた。                      そして新たに「町長と語る新成人のつどい」を企画・開催し、成人式を迎える若者に対して、帰属意識や郷土愛、町政への関心を高めてもらった。</p>	
	課題等	<p>例年、実行委員会は新成人により構成されることから、より良い事業とするために過去の成人式対象者や実行委員経験者に参加してもらおう等、広く人材を募集し開催経験を継承していく必要がある。</p>	

4-2-6 五戸町を深く知る取り組みの推進

26 好きです五戸町ボランティア運動事業

点検	概要	主に若者世代を中心とした、ボランティア人材登録制度を整備し、町や自治会等の町内団体が主催する活動やイベント等における「人手が欲しい（足りない）ニーズ」と地域のため「ボランティア活動に参加したいニーズ」をマッチングする。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア人材登録者数 70名</li> <li>・ボランティア派遣件数 5件</li> </ul>	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア人材登録者数 94名</li> <li>・ボランティア派遣件数 1件</li> </ul>
評価	成果	事業開始年度である令和4年度は1件の派遣実績があり、若者世代へ地域課題解決の場の機会を提供した。また、若者が地域の課題に直接向き合うことで、郷土愛を育むことができた。		
	課題等	<p>本事業は新たに令和4年度に開始した事業。今後、本事業をより利用してもらうためにも町内へ幅広く周知し、各種団体や町民の方々に本事業の趣旨・目的を認知してもらう必要がある。</p> <p>また、「ボランティアに参加する側」、「ボランティアを募集する側」が双方、利用しやすいように制度を改善していく必要がある。</p>		

27 ボランティア活動支援事業			
点検	概要	<p>町内の各分野における特技を持った人材を生かし、町民の社会参加の場を提供するとともに、地域ぐるみの教育を目指した「学校等支援ボランティアバンク」にボランティアで活動する人をリストに登録し、学校等からの求めに応じて人材を紹介する。 登録の更新は、2年ごとに行う。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録人数 50人</li> <li>・登録件数 25件</li> <li>・活動件数 1件</li> </ul>	実績
評価	成果	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、活動実績がなかった。	
	課題等	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができなかった。来年度以降は感染状況を注視しながら、徐々に利用を増やしていくため、周知をさらに実施していく必要がある。また、利用者側の状況やニーズを把握し、利用しやすい制度または現状に合った内容に改善する必要がある。	

## 施策4-2 総括的評価

生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催しているか、及び生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めているか、関連する11事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

## 点検・評価助言委員の意見

### 18 町民大学講座事業

◆2年ぶりの開催で難しい面もあったかと思いますが、開催できたことは良かったと思います。若年層にも拡大していくためには、ニーズや方法等を検討する必要があるかと思います。

### 19 公民館講座事業

◆創意工夫された短期講座や移動講座の実施に期待します。

◆コロナ明けということで、思うように受講者数が回復していないようですが、町民大学講座事業と同じように町民のニーズややり方等を検討する必要があるかと思います。

### 20 公民館情報誌発行事業

◆公民館情報紙「おんこ」や町のホームページで情報発信に加えて、例えばケーブルテレビ等を活用してみてもはどうでしょうか。

### 22 町民文化講演会事業

◆自衛隊音楽隊や県警音楽隊等の活用を、継続的に考えてもよいと思います。

### 24 あいさつ運動事業

◆五戸っ子宣言実践との連携を進めてみてはどうでしょうか。また、役場職員にも徹底をはかり、役場の中にも掲示したり、バッチをつけるなど、来訪者への挨拶運動を進めると、一般の大人向けのあいさつ運動に連動すると思います。

◆町内の小中学校が教育委員会のリードにより同一歩調で推進されたのは、素晴らしいと思います。町全体を巻き込んでいくために、例えば、キャンペーン週間を年に何回か企画して参加してもらうようなことを検討してみてはどうでしょうか。

### 25 成人式事業

◆郡内でも参加率は7割程度あることから、より参加率を上げる手立ても必要かもしれません。

◆参加率が増加していることは喜ばしいことです。新たな試みの「町長と語る新成人のつどい」が定着するためにも、継続した取り組みが重要と考えます。

### 26 好きです五戸町ボランティア運動事業

◆新規事業であり、この取組の周知をどのように進めるか計画している具体策があるのであれば、明記した方がよいと思います。

◆課題にもある通り「ボランティアに参加する側」「ボランティアを募集する側」への周知の仕方とコーディネートの仕方の工夫が必要だと思えます。

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-3 スポーツ・レクリエーション

- 住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めます。
- スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めます。
- 住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めます。

#### 【4-3-1 多様なスポーツ活動の普及促進】

- 28 スポーツ推進委員事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 29
- 29 生涯スポーツ振興事業等委託事業・・・・・・・・・・・・ P 30
- 30 スポーツクラブ育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 31
- 31 スポーツ大会出場祝金事業・・・・・・・・・・・・・・ P 31
- 32 町民運動会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 32

#### 【4-3-2 指導者の育成・確保】

※各種事業所に働きかけ実施

#### 【4-3-3 スポーツを通じた交流の促進】

※各種事業で実施

#### 【4-3-4 スポーツ環境の整備】

- 33 スポーツ施設の管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 33

施策4-3総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・ P 34



4-3-1 多様なスポーツ活動の普及促進

28 スポーツ推進委員事業			
点検	概要	町のスポーツの推進のため、熱意と能力のある住民をスポーツ推進委員として町教育委員会が委嘱し、社会体育事業の企画・運営をしてもらう。また、その他の団体のスポーツ行事・事業に協力及び指導助言をしてもらう。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会・登山・歩こう会の企画運営への参画</li> <li>・各種スポーツ大会への協力</li> <li>・委員の行事等への延参加者数 50人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員は、町民登山及び歩こう会の企画運営に参画した。</li> <li>・老人スポーツ大会に係る協力者は4人</li> <li>・委員の行事等への延参加者数30人</li> </ul>
評価	成果	スポーツ推進委員は、専門的な知識と行動力で町の事業に参画するなどスポーツの振興に寄与した。スポーツ推進員なしでは、町民運動会、町民登山及び歩こう会の円滑な計画立案・実施は難しいといえる。特に女性委員は、登山や運動会での女性参加者に対する心身のケアや幅広い視点で活動ができる貴重な人材であり、存在意義は大きい。	
	課題等	委員多忙により県や三八地域の研修会へ参加することが困難なため、会議など集まりの際に、研修に出席した委員から学んだことを共有するなど工夫しながら、委員のスキルアップを図っていきたい。	

29 生涯スポーツ振興事業等委託事業

概要

「町民一人1スポーツ」を奨励し、心身ともに健康で豊かな生活を送るため、生涯スポーツを推進することを目的に、誰もが気軽に参加できる各種スポーツ大会や運動教室の実施についての企画、運営を（公財）五戸町スポーツ振興公社に委託している。

点検

計画

- ・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 3,500人
- ・県民スポレク祭派遣 1回
- ・開催スポーツ大会数 5回
- ・開催教室数 3回
- ・各種講習会・支援事業 5回
- ・登山参加者 30人
- ・歩こう会参加者 50人

県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業  
 ・実行委員会の実施内容  
 選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート  
 ・練習会等回数 30回  
 ・練習会参加者数 30人

スポーツ少年団本部事業  
 ・補助金の交付  
 ・登録指導者予定数 30人  
 ・登録団員数 200人  
 (合計 230人)

実績

- ・各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4,057人
- ・県民スポレク祭派遣 1回
- ・開催スポーツ大会数 8回
- ・開催教室数 4回
- ・各種講習会・支援事業 26回
- ・登山参加者（折爪岳）36人
- ・歩こう会参加者（十和田湖西湖畔）43人

県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業  
 ・実行委員会の実施内容  
 選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート  
 ・練習会等回数 15回  
 ・練習会参加者数 36人

スポーツ少年団本部事業  
 ・スポーツ少年団本部へ補助金を交付した。  
 ・登録指導者数 31人  
 ・登録団員数 184人  
 (合計 215人)

成果

生涯スポーツ振興事業等の委託では、行政では手が回らない部分を委託することで、多彩な大会等が実施され、多数の町民がスポーツに親しむことができた。教室や講習会など、コロナ禍であっても感染防止対策を講じ実施することができた。

評価

課題等

参加者数が減少している教室や講習会など、これまで参加していなかった新規参加者を呼び込むための対策が必要である。

30		スポーツクラブ育成事業	
点検	概要	<p>幼児から一般まで幅広い年齢層で、多様な競技を選択できるように地域に根ざした、総合型地域スポーツクラブの育成と、スポーツを通じた町の活性化を目指し、スポーツクラブを運営している（公財）五戸町スポーツ振興公社へ、スポーツクラブ強化事業、指導者育成事業、スポーツ教室開催事業分として補助金を交付する。</p> <p>・スポーツクラブのスクールコースは、サッカー（U-8、レディース）、野球、バスケットボール、ソフトテニス、こども運動遊び教室の5部門となっている。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者 1,500人</li> <li>・補助金の交付</li> <li>・クラブ大会出場数 30回</li> <li>・指導者育成事業 2回</li> <li>・スポーツ教室・イベント事業 10回</li> </ul>	実績
評価	成果	<p>運営組織の（公財）五戸町スポーツ振興公社に町が補助金を交付することで、公社は強化事業、指導者育成事業、イベント開催事業を展開した。強化事業では、スクールコースと育成コースの2コースを実施。育成コースではサッカー競技、バスケットボール競技のチーム活動を行い、特にサッカー競技では、U-12で3大会、U-15女子で1大会の全国大会出場など、多くの大会で優秀な成績を収めることができた。</p>	
	課題等	<p>スポーツクラブの事業拡大に伴い、育成コースのチーム活動を行う指導者不足解消が課題である。</p> <p>また、町教育委員会では、令和4年度より「五戸町立中学校部活動の在り方に関する検討委員会」を設置し、中学校部活動の地域移行に向けた検討を開始しており、国・県等の動向及び検討委員会の意見等を踏まえながら、今後のスポーツクラブの方向性など検討していく必要がある。</p>	

31		スポーツ大会出場祝金事業	
点検	概要	<p>小・中学生のスポーツ競技力の向上と支援を目的に、予選を経て東北大会及び全国大会に出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチに対し、出場に際する負担を軽減するため、東北大会出場者へは10,000円以内、全国大会出場者へは20,000円以内（合わせた限度額は20,000円）の祝金を支給する。</p>	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大会 7人</li> <li>・全国大会 4人</li> </ul>	実績
評価	成果	<p>出場祝金を支給することで、予選を勝ち抜いて上位の大会へ出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチの負担を軽減することができた。</p>	
	課題等	<p>学校やスポーツ少年団、スポーツクラブ等へ、祝金制度についての周知や声かけを行い、対象者がいたら早めに申請してもらったり、申請漏れがないか確認したりする必要がある。</p>	

32 町民運動会事業

点検	概要	町民の健康増進や親睦を図るために、全町内で自治会または地区ごとにチームを作り、子どもから老人までが参加できる様々な競技で得点を競う。唯一の全町をあげたスポーツイベントとなっている。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加チーム数 14チーム</li> <li>・延参加選手数 1,300人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加チーム数 0チーム</li> <li>・延参加選手数 0人</li> </ul> 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ中止
評価	成果	町民運動会は、町内の全地区が参加し、スポーツを通じて地域の結団と親睦を図るとともに、三沢基地所属のアメリカ海軍チームを特別招待することで、国際交流の推進を図っているが、令和4年度は多数のチームから出場辞退の意志が確認され、また新型コロナウイルスの状況をふまえ中止となった。	
	課題等	近年の少子高齢化に伴い選手の確保が難しくなっているチーム（自治会）が多くなってきている。今後自治会の方々の意見を踏まえたうえで事前に協議を重ね、少しでも町民が参加しやすいような工夫をしていく必要がある。 また、町職員を多数動員しており、職員の負担が大きい。ボランティアスタッフを募り更なる町民参加型の事業とするために、募集方法等について改善を検討すべきである。	

33 スポーツ施設の管理事業

概要	<p>ひばり野公園（陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、プール）、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターの施設を町民のスポーツ活動の場として提供しており、町民が利用しやすい施設とするために、施設管理を指定管理者に委託している。また、利用者が安全に安心して利用できるように、施設の不良箇所の修繕を行う。</p>		
	点検	計画	実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度ひばり野公園トイレ撤去工事</li> <li>・ひばり野公園長寿命化計画策定業務委託</li> <li>・五戸ドーム防火シャッター工事</li> <li>・五戸ドーム人工芝用スーパー購入</li> <li>・交流センターカーペット張替工事等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者数</li> <li>ひばり野公園 43,000人</li> <li>五戸ドーム 20,000人</li> <li>スポーツ交流センター 4,000人</li> <li>倉石スポーツセンター 14,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度ひばり野公園トイレ撤去工事</li> <li>・ひばり野公園長寿命化計画策定業務委託</li> <li>・五戸ドーム防火シャッター工事</li> <li>・五戸ドーム人工芝用スーパー購入</li> <li>・交流センターカーペット張替工事等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者数</li> <li>ひばり野公園 46,110人</li> <li>五戸ドーム 34,362人</li> <li>スポーツ交流センター 6,474人</li> <li>倉石スポーツセンター 11,644人</li> </ul>
評価	成果	<p>ひばり野公園、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターは、（公財）五戸町スポーツ振興公社と指定管理委託を締結することで、経費の節減ときめ細かな施設の管理及び利用者の利便性の向上を図ることができた。（指定管理期間は令和4年度から令和6年度まで）</p> <p>また、予定した各種工事は予定どおり実施、新型コロナウイルス対策の追加工事等も順次行うことで、施設の良い管理ができた。</p> <p>施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症対策が前年度からさらに緩和されたことで、コロナ禍で中止を余儀なくされていたイベントや行事も再開できたことから、特にひばり野公園や五戸ドームは利用者数が大幅に回復した。</p>	
	課題等	<p>ひばり野公園は開園から30年以上が経過し、各施設や設備の老朽化が進む中で各個改修を進めている状況である。令和8年度には青森国スポサッカー競技の一部がひばり野公園で実施される予定であることから、財政担当課や関係機関と協議し計画的な予算措置が必要である。</p> <p>その他施設設備の突発的な故障にも対処が必要となっている。</p>	

#### 施策4-3 総括的評価

住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めているか、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めているか、及び住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めているか、関連する6事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

#### 点検・評価助言委員の意見

##### 28 スポーツ推進委員事業

- ◆課題等書かれているように、研修会の受講者からの情報共有はとても大事だと思うので、是非、その機会をもっていただきたいと思います。
- ◆令和3年度に比べ令和4年度の委員の行事等への延べ参加者数が20人余り減少しています。難しいかもしれませんが、委員が参加しやすい環境づくりをしていくことも大事かと思えます。

##### 33 スポーツ施設の管理事業

- ◆利用者の声を把握できる仕組みがあれば、公園の整備についてより利用しやすい環境ができると思えますし、国スポ大会会場にもなる際の施設改修にも役立てることができると思えます。
- ◆各施設や設備の老朽化は否めない状況ですので計画的な改修が必要と考えます。

## 〈五戸町総合振興計画〉

### 施策4-4 地域文化

- 本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図ります。
- 学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援します。

#### 【4-4-1 保存団体、指導者の育成】

34 文化まつり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 36

#### 【4-4-2 文化財の保存活動の推進】

35 町文化財管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 37

36 伝統芸能継承活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 37

#### 【4-4-3 文化財の活用】

37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業・・・・・・・・・・・・P 38

38 ごのへ郷土館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 38

施策4-4 総括的評価・点検・評価委員の意見・・・・・・・・P 39

4-4-1 保存団体、指導者の育成

34 文化まつり事業			
点検	概要	文化活動を行っている団体、個人が、公民館を会場に発表を行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加団体数 50 団体</li> </ul>	実績 出展、出店団体数 37 団体 芸能発表団体数 9 団体 計参加団体数 46 団体
評価	成果	文化まつりは、町民の日ごろの活動成果を発表したり親しんだりする貴重な機会、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、令和4年度は3年ぶりに開催することが出来た。 目標の参加団体の50団体からは少し下回ったが、参加された団体が2年間出来なかった中でも準備を進めて出展やステージ発表を実施できて良かった。	
	課題等	開催にあたっては、出展側のニーズを踏まえたうえでさらに訪問客が利用しやすいように計画するかが問われている。 ステージ発表の構成も含め工夫していきたい。	



4-4-2 文化財の保存活動の推進

35 町文化財管理事業

点検	概要	町所有の文化財の整理作業を実施するため、専従職員3名体制とし、未整理文化財の整理作業を行う。関係機関やボランティア（文化財保護審議委員）の協力を得て未整理文化財調査を行う。 開発等に伴う遺跡調査を実施し、遺跡の適切な保存に努める。 文化財関係資料の貸出等に対応し、町内文化財の周知に努める。	
	計画	・未整理文化財調査日数 10日 ・町有文化財環境整備回数 2回	実績 ・未整理文化財調査日数 15日 ・町有文化財環境整備回数 2回 (腐朽菌防除、草刈)
評価	成果	町文化財の整理成果を周知することにより、町民及び県内外の関係者への町の歴史理解に寄与した。 町関係の文化財寄贈に対応し、受入れ及び整理作業を実施した。弘前大学及び町文化財保護審議委員の協力を得て、古文書及び江渡狄嶺関係資料の資料調査を実施した。 県指定天然記念物「わむら（上村）のカシワ」の腐朽菌防除、町指定文化財「大学沢の追分石」周辺草刈作業を行い、適切な管理に努めた。 埋蔵文化財、写真等資料の貸出により町内の文化財の魅力を発信することができた。 開発等に伴う遺跡調査等は、試掘調査2件を実施した。	
	課題等	既存の未整理の文化財に加えて、近年は文化財の寄贈申し入れの事例が増えているため、今後も継続的に事業を実施する必要がある。 天然記念物（樹木）については、定期的に枝折れ、倒木等の危険がないか確認する必要がある。また、各種新規指定文化財候補の調査等を積極的に行い、文化財の保存活用に努めることも必要である。	

36 伝統芸能継承活動事業

点検	概要	小学生に対し、伝統芸能に触れる機会をつくとともに、継承活動を進める。学校で行う伝承活動について、必要に応じて指導者への謝金や道具の修繕などの支援をする。	
	計画	・指導回数 40回 ・発表回数 3回	実績 五戸小学校の児童が和太鼓（五戸太鼓）を通常は月2回程度、長期休暇等は月5回程度の活動を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4、8、9月は活動を休止し、発表についても未実施となった。 ・指導回数 24回 ・発表回数 0回
評価	成果	伝統芸能継承活動は、小学生の伝統芸能への理解に寄与した。 また、地域の子どもの伝統芸能の指導が行われることで伝統芸能の普及発展に寄与した。	
	課題等	新型コロナウイルス感染拡大の影響だけでなく、少子化や習い事の増加等によって伝統芸能を実践する児童が減少している。五戸小学校の協力を得ながら、参加者数の増加に努める取り組みが必要である。	

4-4-3 文化財の活用

37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業			
点検	概要	青森県重宝に指定されている「旧圓子家住宅」の管理及び見学者への公開を行うことにより、文化財保護への理解を深め、五戸町の歴史を後世に伝えていく。 会計年度任用職員1名を雇用して管理・清掃を行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理実施日数 70日</li> <li>・見学者数 50人</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理実施日数 70日</li> <li>・見学者数 32人</li> </ul>
評価	成果	見学者への公開によって町民の郷土史理解の深化に寄与した。パンフレットを活用し、町内外へ当該文化財を周知することができた。消防設備点検を実施し、法令に基づき保存環境の適正化を推進した。	
	課題等	文化財である旧圓子家住宅の保存と有効活用を両立させるため、適正な管理と文化財的価値の周知を効果的に実施することが課題である。	

38 ごのへ郷土館管理事業			
点検	概要	旧豊間内小校舎を利活用した「ごのへ郷土館」を指定管理者と協力して施設の維持管理や活用に努める。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典 1回</li> <li>・利用者延べ人数 10,000人</li> <li>・特別展示及び体験イベント 2回</li> </ul>	実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典 1回</li> <li>・利用者延べ人数 18,172人</li> <li>・特別展示及び体験イベント 3回</li> </ul>
評価	成果	指定管理者が中心となり、6月26日に開館4周年式典を実施した。特別展示は6月～9月に教育課の企画で企画展「十勝沖地震と南部鉄道最後の機関車両DC351」を行った。また、11月～12月に特別展「五戸の旧家山玉家（三浦家）に伝わる甲冑」を企画し、見学者の増加に努めた。指定管理者事業である伝統工芸体験イベントは開館4周年記念式典に併せて実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4月1日～10日まで休館としたが、DC351帰郷の効果や指定管理者の自主事業（館長講座、小正月等）の実施もあり、利用者は前年比約120%増となった（新型コロナウイルス感染拡大の影響がほぼなかった令和元年度と比較しても約50%増であった。）	
	課題等	次年度は開館6年目となり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変わり、見学者数の増加が期待できる状況となった。利用者数の維持増加を図るため、指定管理者と協力して展示替えや特別展示の実施、SNS等を活用した広報を積極的に実施することが求められる。 管理については、指定管理者と情報を共有し、適切な管理、施設の有効利用に努める必要がある。	

#### 施策4-4 総括的評価

本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図っているか、及び学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援しているかについて、関連する5事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

今後も同事業を引き続き実施していくこととなるが、各事業とも課題等があるため、改善に努めながら実施していく必要がある。

#### 点検・評価助言委員の意見

##### 35 町文化財管理事業

- ◆新聞報道されました古文書の解読に期待したいと思います。
- ◆文化財の整理作業を実施するために、令和4年度から専従職員3人体制としたこと、及び弘前大学や町文化財保護審議委員会と協力し進めていることなど素晴らしいと思います。

##### 36 伝統芸能継承活動事業

- ◆今後は学校部活動の位置づけから地域の活動への移行することが必要と考えます。
- ◆色々なイベント等で伝統芸能を見たり聞いたり体験したりする機会をつくり、興味をもってもらうことが参加人数の増加につながるのではないかと思います。

##### 37 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業

- ◆文化財の維持管理だけではなく、町民の文化的意識の向上と郷土に対する誇りの涵養にもつながる新規施策を期待します。
- ◆年に1～2回、旧圓子家など五戸の文化財を回る歴史観光ツアー等を企画してみてもどうでしょうか。

##### 38 ごのへ郷土館管理事業

- ◆ごのへ郷土館の取組を町の広報誌に常時掲載してみてもどうでしょうか。また、小中学生対象にする講座開催も期待します。
- ◆十勝沖地震や南部鉄道関連のイベントや展示は、地元根差したもので意味深いと思います。これからもこのような将来に向けて伝承していかなければならないことなどの企画に期待します。

## 参 考 資 料

### ◇児童生徒数の推移

学校名	R 2年度 児童生徒数 (人)	R 3年度 児童生徒数 (人)	R 4年度 児童生徒数 (人)	R 5年度 児童生徒数 (人)	R 5年度 学級数 (学級)
五戸小学校	381(16)	376(15)	361(17)	357(15)	15( 3)
切谷内小学校	54( 3)	57( 5)	54( 5)	50( 6)	7( 2)
上市川小学校	102( 2)	95( 1)	81( 1)	78( 2)	7( 1)
倉石小学校	95( 1)	83( 2)	81( 2)	76( 2)	7( 1)
小学校計	632(24)	611(23)	577(25)	561(25)	36( 7)
五戸中学校	208( 3)	192( 3)	190( 7)	192(15)	9( 3)
川内中学校	76( 3)	69( 2)	84( 2)	76( 3)	5( 2)
倉石中学校	47( 0)	51( 2)	44( 2)	51( 3)	5( 2)
中学校計	331( 6)	312( 7)	318(11)	319(21)	19( 7)
合 計	963(30)	923(30)	895(36)	880(46)	55(14)

※ ( ) は、特別支援の数 (内数)

### ◇令和4年度 教育委員会開催状況

R 4. 4. 15 第1回 定例会開催	R 4. 10. 26 第7回 定例会開催
R 4. 5. 24 第2回 定例会開催	R 4. 11. 22 第8回 定例会開催
R 4. 6. 27 第3回 定例会開催	R 4. 12. 22 第9回 定例会開催
R 4. 7. 26 第4回 定例会開催	R 5. 1. 27 第10回 定例会開催
R 4. 8. 26 第5回 定例会開催	R 5. 2. 22 第11回 定例会開催
R 4. 9. 26 第6回 定例会開催	R 5. 3. 24 第12回 定例会開催